



エスディーゼーズ

SDGs

を広める人 >>>



vol.5
角館高校2年
新田目 真弥 さん

問 仙北市地方創生・総合戦略室 ☎43-3315

仙北市は平成30年6月に「SDGs 未来都市」に選定されて以来、シンポジウムやポスター、広報などで周知活動をしています。このコーナーでは、少しずつ広がりを見せるSDGsの重要性を理解し、自ら積極的に行動している人をご紹介します。

角館高校の授業で、生徒が「地域活性化」をテーマにしたプロジェクトを考え、発表する機会がありました。「観光」「歴史・文化」「産業」など、複数ある探求テーマから「公共事業の現状・公共施設の利活用」を選択し、SDGsの視点も取り入れてプロジェクトを提案した新田目さんから、SDGsに対する考えを語っていただきました。



新田目さんのプロジェクト案!!

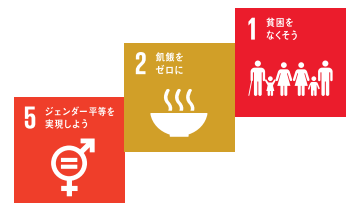


仙北市の深刻な課題は、人口減少の中でも転出が転入を上回ってしまう“社会減”。解決のためには、「この地に住み続けたい」「移住したい」と思えるような新たな魅力を作る必要があります。

そこで注目したのは秋田の高い学力水準。学習・学問の分野で地域住民の交流を生む「市民一斉テスト」を提案します。ただテストを受けるだけではなく、グループで話し合ったり、その後の学習の相談相手になったり、生涯学習を含む新たな交流によって、市全体で学習に取り組む雰囲気形成されます。SDGsのゴール4（質の高い教育をみんなに）からゴール11（住み続けられるまちづくりを）にもつながる取り組みです。

★どうすればSDGsの目標を達成できると思いますか？

SDGsは、17の目標すべてを達成できてこそゴールだと思います。エコバッグの利用や電気、ガスの節約は広がってきている一方で、貧困、飢餓、ジェンダー平等など、すぐに解決することが難しい目標もあります。そのような目標についても、時間をかけてみんなで考え、取り組んでいくことが重要ではないでしょうか。



新田目さんから 皆さんへメッセージ

大切なのは、SDGsに関わる課題をみんなが解決したいと思うこと。快適に住み続けるために、自分でできることは何かを考え、一人ひとりが行動することでゴールに近づきます。取り組みにくい目標についても関心を持ち、みんなで目標を達成しましょう!!

